

三島庸川 （幼名） 小説家、劇評家。明治九年七月二十日富山縣生乳。

昭和九年二月七日没（二八六一九三〇）。本名才一。筆名松右衛門、敬之

助、寫奴、牛麿王、産兒、三島産兒等。明治二十七年上京、徳田秋聲

を知り、二十九年硯友社に別はる。のち雑誌『演藝叢報』編輯主幹。

著書『花がすみ』（合著・山川直信編、明治二十五年九月十五日又錦

堂）、『愛！戀！情！』（徳田秋聲、田口樹江合著、明治二十六年一月十五日新

聲社）、『スケツ子』（明治二十七年一月一日森山榮之助刊、新聲社）、

『白露職争寫真帖』（合著、明治二十七年六月十日、第貳集・十月十

日）金港堂書籍株式会社）、『現代文藝傑作集・第ハ巻』（背負傷（背負傷）、解創室（解創室））（徳

田秋聲合著・宮森林太郎編英譯、大正八年七月九日（二光書院）、森田

富次郎著『おもひのけ草』（本名、編、大正十四年四月五日森田齋次

刊）、『大岡秀吉』（大正十五年八月九日金の星社）『世界少年少女偉

人傳大系』（、『源義経』（昭和二年二月十五日金の星社）『日本歴史

實傳物語叢書』（、『關原大合戦』（昭和二年十一月十七日金の星社

）『日本歴史實傳物語叢書』（、『園藝稀聞帳』（本名、編校註、昭和

四年二月二十日潮文閣）、『西郷隆盛』（昭和十年二月二十五日金の

星社）『日本精神』『少年史文庫』（、『没者藝風記』（昭和十年四月二日

中央公論社）、『少年日本外史・源平の巻』（昭和十年五月二十五日金

の星社）、『少年瀧次喜多道中記』（昭和十年七月十日金の星社）、

『少年水滸傳』（昭和十年七月二十五日金の星社）等。